



園長だより

令和7年12月1日発行
ありんこ親子保育園
園長 中嶋 悅子

肌にふれる空気がぐっと冷くなり、いよいよ本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。公園の木々も葉を落とし、子どもたちは落ち葉を使った遊びや、寒さの中でも元気に体を動かす遊びを楽しんでいます。大人にとって「寒いから中へ入りたい」と思うような日でも、子どもたちは「今、やりたい！」という純粋な気持ちに突き動かされ、夢中で遊びの世界へと飛び込んでいきます。

今月のテーマは、「主体的な子どもの遊び」についてです。保育の世界ではよく耳にする言葉ですが、保護者の皆様にとっては、少しおこづらい部分もあるかもしれません。園ではどのような遊びの姿を大切にし、どのような環境をつくっているのか、改めてお伝えしたいと思います。



子どもが「自分で選ぶ」「自分で決める」から始まる主体性

主体性とは、誰かに言われたからではなく、子ども自身が「やってみたい」「こうしたい」と感じて行動することです。たとえば、砂場で山をつくる、ブロックで車を作る、友だちとごっこ遊びの役を相談する。これらはすべて、自分で遊びを選び、自分でやり方を考え、自分でやってみるという主体的な学びのプロセスです。子どもにとって遊びは単なる「楽しみ」ではなく、成長の大切な基盤です。主体的に遊ぶことで、次のような力が育ちます。

- ・考える力（思考力）
- ・試してみる力（挑戦・探究心）
- ・友だちと関わる力（社会性・協調性）
- ・最後までやり遂げる力（集中力・持続力）

大人が手を出さず、見守りながら必要な時だけそっと支えることで、子どもは自ら育つ力を発揮します。



「遊び込む」ことで生まれる成長

この時期の子どもたちは、一見同じ遊びをしているようでも、日々その内容は進化しています。砂場での山作りひとつでも、初めはバケツに砂を入れてひっくり返すだけ。でも何度も遊ぶうちに、「トンネルを作ってみたい」「もっと高い山にしたい」「川をつくって水を流してみよう！」と発展していきます。

この「遊び込む」姿は、まさに主体的な遊びそのものです。子ども自身が「もっとこうしたい」と思うから、遊びがどんどん豊かになっていくのです。



大人の関わりで大切にしていること

保育士は、主体的な遊びが生まれるように環境を整え、子どもが自由に表現できるように心を配っています。具体的には以下のようないわゆる関わりを大切にしています。

- ① 遊びを制限しすぎない

「こうしたら？」「こうやるんだよ」と大人が先回りするのではなく、子ども自身が考えられる余白

をつくります。

② 興味が深まる“きっかけ”をさりげなく用意する

落ち葉、箱、毛糸、木片、布…ちょっとした素材が遊びの世界を広げてくれます。

③ 気持ちに寄り添い、ことばを受け止める

「やってみたかったんだね」「ここが難しいんだね」と丁寧に受け止めることで、自分の気持ちに気づき、表現する力が育ちます。

④ トラブルも学びのチャンスにする

おもちゃを取り合う、役が決まらないなど、こうしたトラブルは、主体性と社会性が育つ大切な場面です。大人が解決してしまうのではなく、子どもの気持ちに寄り添いながら一緒に考える時間を大切にしています。



家庭でもできる、主体性を育てる関わり

園だけでなく、ご家庭でもちょっとしたことで子どもの主体性を育むことができます。

- ・選べる場面をつくる（服・おやつ・遊びなど）
- ・できるだけ自分でやってみる時間を持つ
- ・失敗しても「大丈夫、もう一度やってみよう」と受け止める
- ・「すごいね！」より「どうしたの？」「どう考えたの？」と過程に注目する声かけをする

親にとっては時間がかかったり、失敗するとつい手を出したくなったりしますが、子どもの「自分でできた！」は、大きな自信につながります。



主体性と我がままは違う

主体性と我がままの区別ができないと困ったことになりますね。子どもが言うことを何でも聞いてあげることが主体性ではありません。主体性とは、「自分で考えて、目的をもって行動すること。責任も持つこと」です。我がままとは、「自分の気持ちや欲だけで動き、周りを考えないこと」です。

簡単に言うと、主体性は「自分で動くこと」ですが、我がままは「他人を振り回すこと」です。園では、子どもの気持ちに寄り添いながら、しかし相手のいることですので、お友達の気持ちも考えてほしい「お友達はどう思ったかな？」と伝えています。お友達との関わりを通して、自分中心の考え方から、だんだんと大勢の友達と楽しめるようになっていきます。



年の瀬を迎えて

12月は一年のしめくくりの月です。子どもたちの主体的な遊びの姿を振り返ると、4月とは比べものにならないほどの成長が見られます。「できるようになったこと」だけでなく、「やってみたい気持ちが育ったこと」を、ぜひご家庭でも温かく見守っていただければと思います。

寒さが厳しくなりますが、どうぞお身体にお気をつけて、よい年末をお迎えください。

